



発行所  
 太平山頂上鎮座  
 太平山三吉神社総本宮  
 宮司 田村 泰教  
 秋田市広面字赤沼3の2  
 電話 (018) 834-3443  
 F A X (018) 834-3444  
<http://www.miyoshi.or.jp>



春季  
**例大祭**  
 のご案内

宮司 田村 泰教

ハラハラドキドキ、興奮と歓喜・私たちに多くの楽しみと喜び、そして尊敬の念を抱かせてくれた選手たち。▽運よく初めての大会でメダルを取った人、実力があってもついで栄光に届かない選手、競技人生は様々だ。▽しかし、結果以前に、過酷な練習と厳しい選考を経て、四年に一度の大舞台に立ったこと、ましてハンディがありながら競技に打ち込むパラリンピアンへの強靱な精神力には本当に頭が下がる。▽平昌五輪・パラリンピックが閉幕して春、人生の節目や年度替りを迎えて、虚無感に襲われたり、苦境に立たされたり…。厳しい立場に置かれていられる方もいるかもしれない。草木が芽吹き、周囲が躍動する春は、その眩しさゆえに、息苦しく感じられることもある。▽「さあ、やるぞ」と張り切って、年度の始まりを迎えるもよし、場合によっては、無理をせずまだ冬眠状態にあっても構わないだろう。梅の開花が沖繩と北海道では四ヶ月も違うように、私たちの春も人それぞれ。▽気分が向いたら、ふらつと散歩にでも出掛けてみよう。きつと、温かい風が優しく身を包んでくれるはずだ。

行事日程表

五月七日(月) 午後六時

宵宮祭

春季例大祭

五月八日(火) 午前十一時

当日祭

地元シリーズ ⑤⑥

## 聖なる山に魅せられて

木曾 ひとみ



私が生まのとなった。

れ育った土 慣れ親しんだ地元の山である  
崎。線路に 太平山には一人でも行ける。登  
かかる陸橋 りはじめると御滝神社、そして御  
からは太平 手洗のかわいらしい地藏様が現れ

名山を目指す人たちや御朱印を求めて都会からやってくる山ガール、せて拝んだ。  
白装束をまとった山詣者など。遅 最近では体力回復を目的に太平山  
い時間でも山頂には職員の方がい 一筋に登っている。毎回山頂に立  
てくれると思うと安心して登れる。つと今日もどうか登れたという  
そして、職員や神社協力会など、 安堵感に満たされ、次回の挑戦に  
多くの方々のお陰で登山道が非常 心躍る。雪解けが待ち遠しいこの  
によく整備されていることにも心 頃である。

山がよく見える。なだらかな曲線 樹林を抜けると開けた視界の  
を描く幾筋もの山の連なり。春、 先にはなにやら大きな山小屋があ  
生命の息吹を感じる青々とした姿。 る。ようやくたどり着いた頂には  
初冬、白く薄化粧した凛とした姿。 その奥に堂々としたお社（奥宮）  
移り変わりの激しい時代にあつて が鎮座している。しかも四ヶ月も  
も、太平の山々だけは変わらぬ姿 の間、宮司さんはじめ神社の職員  
を見せてくれる。 の方々が交代で滞在し信仰者のみ

若い時はほとんど山登りをする ならずわたしのような登山者を温  
機会がなかったが、リタイアして かく迎え入れてくれる。これは初  
から無性に登山をしたくなった。 めて登ったときの驚きである。た  
高くそびえ立つ山々の神々しさに だただ感謝の念でいっぱいである。  
心が震える。離れて眺めるだけで 平日は他に誰もいないこともある  
なくあのてっぺんに行きたいとい が遠方からの登山者に出会うこと  
う思い、それが唯一心を動かすも も多く大いに刺激を受ける。三百

太平山がそうであるように、そ れぞれの地域や国には、神が宿る  
山、歴史や重要な出来事が起こつ た場所として崇拜され大切に守ら  
れてきた山がある。富士山、エベ レスト、マチュピチュ、キリマン  
ジャロなど世界の七大聖山が有名 である。登頂は難しくともこの  
目でその姿を見たいと願っている。 この三月には七大聖山ではない  
が、スリランカにあるスリーパー ダ（アダムスピーク）を訪れた。二、  
二三八Mと大した高さではないが 四大宗教共通の聖地として敬われ  
ている。人々はよりよき明日を目 指してこの山に登る。聖山の山頂  
では神々しいご来光が迎えてくれ、



スリーパーダ（アダムスピーク）

言挙げ 64

# 「練習」と「はばきぬき」

権 楠 宜 和 田 恵 梨 子



生まれすか。地元の方はご存知かと思いきや、育った土地が、県外の皆さんはお分かりますが、県外の方にはお分かりますか。お酒が好きな秋田県人ならではの習慣です。

と、気候や 通常仕事やプライベートでの飲み会の場合、定刻になっても全員が揃わない場合があります。大幅に遅れる方がいる際は先に飲み会を開始するか、多少遅れる場合は全員揃うまで待つことが多いかと思えます。一方秋田では、ある程度人数が揃った段階でお酒を注文して飲み始めます。これが「練習」です。全員が揃うまで練習は続き、揃った段階で本番（乾杯）となります。練習は主にビールから始まり、各々嬉しそうに瓶ビールの栓を抜いて注ぎあいます。通常は二、三杯程飲んだ辺りで全員が揃い本番となりますが、中々揃わない場合はビールから日本酒などの度数が高いお酒に移行します。そのため全員が揃った時点で既に出来上

がっている方も見受けられます。練習という制度は、遅れてくる人に気兼ねなく飲むことが出来るという、お酒好きな秋田県人にとって非常に有難い習慣です。

## 「はばきぬき」

聞き慣れない独特の響きを持つ言葉ですが、ご存知でしょうか。別の言葉に言い換えると「旅の反省会」です。グループなどで旅行に出掛けて盛り上がることも名残惜しくなります。そのため出掛けたメンバー同士で後日集まり、旅行の思い出話に華を咲かせつつ楽しく飲みましょう、という会を行います。これが「はばきぬき」です。はばきぬきによって楽しかった旅の思い出が再び蘇り、非常に盛り上がります。神社では平成二十六年の三泊四日の伊勢神宮参宮旅行以降、神社主催の旅行後に有志で行いました。宴もたけなわになると民謡や踊りが始まり、「練習」も「はばきぬき」も、地元のお酒が何よりも大好きな秋田県民が生み出した知恵、習慣だと改めて感じました。

食文化の違い、またその地域独特の習慣に驚くことがあります。秋田の冬は長く寒さが厳しい反面、春の喜びは非常に大きくなります。雪が消えると露の臺が芽を出し、梅の花と桜の花が一齐に咲き始めます。寒さ厳しい気候のせい、料理は全体的に味付けが濃いです。それでも徐々にその味付けに慣れ、薄味の料理が物足りなくなりますが、このように季節や食文化一つを取っても様々な違いがあります。今回はここ秋田の地の珍しい習慣をお話したいと思います。

## 「練習」

練習。一体何の練習だと思いま

め全員が揃った時点で既に出来上

と改めて感じました。



山頂で懇親会（山ガール）



はばきぬき

# 九州参拝旅行報告

平成三十年三月十二日～十四日

三月十一日、まだ寒い秋田を発った一行は、既に春真っ盛りの福岡へ。例年よりひと月遅れで梅が見頃を迎えた太宰府天満宮は、日曜ということもあり、多くの参拝者・外国人観光客で参道もぎっしり。正式参拝の後、九州国立博物館で書道展を見学した。翌十二日は、日本三八大幡の筥崎宮参拝。境内の隅々までご案内を頂き、柳川ではポカポカ陽気の中、川下りを満喫。宿泊は復興支援の思いもあり朝倉市の原鶴温泉。周辺は昨年の豪雨の爪痕がまだ残っていた。

三日目は、秋田では珍しい野焼き跡を車窓から眺めつつ、ご存知別府温泉泊。温泉とご当地の名産を堪能した。

最終日、世界遺産宗像大社参拝。御神宝の数々(国宝)に固唾を飲んだ。

今年で五回目を迎え、初めての方もすっかり打ち解けて和気藹々、懇親会も歌あり踊りありで盛り上がった。

全日天候にも恵まれ、各神社様でのご歓待や九州の風土・歴史に触れた参加者は大きな感激と良い思い出を胸に無事帰秋した。



太宰府天満宮



筥崎宮



柳川川下り



宗像大社



懇 親 会

# みよしスケッチ



初詣

元旦はあいにくの雨。それでも三ヶ日約十万名の方々にご参拝頂きました。



厄年・年祝い



拳四朗様正式参拝

現WBC世界ライトフライ級王者の拳四朗様にご参拝戴きました。(二月一日)



どんと祭 (二月二十八日)

古いお札やお守りなどをお焚き上げいたしました。



梵天祭反省会 (二月三日)



巫女説明会 (十月十七日)



平成30年1月17日(水)

# 三吉梵天祭

今年の当社特殊神事三吉梵天祭は、平日の開催ながらも、六十一団体様より七十本のご奉納を頂き、無事に終了いたしました。



# 春季 例大祭のご案内

平成三十年春季例大祭を左記の通り斎行いたします。

是非、多くの方々にご参列下さいますようご案内申し上げます。ご家族、ご友人同士お誘い合わせの上、お越し下さい。

記

宵宮祭 五月七日(月) 午後六時

例大祭 五月八日(火) 午前十一時

(各日とも、祭典後直会がございます。)

◎ご参列の方は、四月二十五日までに  
係(和田)までご連絡下さい。

(七日) 秋田舞

(八日) 浦安の舞



## 三吉梵天祭

祭りの華「けんか梵天」今年も16町内による激しい先陣争いが!

